研究分野	授業科目名	科目責任者
形態系分野	放射線腫瘍学研究	勝井 邦彰

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1～4	必須専攻	20	

目的

（１）悪性腫瘍の放射線治療を理解するため，放射線生物学の基礎を修得する。
（２）新しい放射線治療の方法を開発し臨床応用するために，最先端の放射線腫瘍学の知識を修得する。
（３）卓越した医学研究を行うために，科学的手法に基づく研究の進め方を修得する。

授業到達目標

（１）放射線生物学と放射線腫瘍学の関連を説明できる。
（２）放射線腫瘍学における専門的知識を述べることができ，どのような臨床応用が可能かを考えることができる。
（３）放射線腫瘍学に関する研究計画を立案し，遂行できる。

授業計画

月日	曜日	時間	担当者	授業内容
隔週	火	18:00 - 20:00	林　貴史	基礎研究と最新放射線治療との関連性について
隔週	水	13:00 - 15:00	勝井 邦彰	放射線治療の胸部や泌尿器領域疾患に対する最新の知見について
隔週	木	14:30 - 16:00	釋舎 竜司	放射線治療の有害事象や血液疾患に対する最新の知見について

評価方法

（１）１・２年次に中間発表へ出席する。
（２）２年次に中間発表で発表する。
（３）APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：１年次に受講。]
（４）１週間ごとに研究内容を履修手帳にまとめ，科目責任者の認定印をもらい，学期ごとに提出する。

課題（レポート等）に対するフィードバック

中間発表の抄録を作成する際に，指導・助言を行う。

教科書

ISBN-978-4-05-520049-3, がん・放射線療法　改訂第８版 , 大西 洋, 唐澤 久美子, 西尾 禎治, 石川 仁編著, Gakken, 2023

参考書

ISBN-9784263731925, ゴイテン放射線腫瘍学 : 医学物理士の視点, Michael Goitein 原著 ; 森慎一郎, 綱島義一, 遠藤真広訳, 医歯薬出版, 2019

準備学習（予習・復習等）

（１）研究の倫理を理解し，学習・研究前に教科書・参考書等を読み，明らかにしたい疑問点を見つけておく。
（２）毎週，学習内容・研究内容を記録する。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

卓越した研究成果をあげ，放射線腫瘍学の深い学識を獲得する。

注意事項・メッセージ

放射線腫瘍学の研究に熱心に取り組んでください。
研究成果が実際の臨床に広く活用されることが望まれます。